

故後藤田正晴氏の 軌跡公園で起工式

吉野川市 9月ごろ完成

故後藤田正晴元副総理の功績をたたえる「後藤田正晴の軌跡公園」の起工式が22日、出身地の吉野川市美郷であった。9月ごろの完成を目指す。

元後援会有志でつくる顕彰碑建立委員会の関係者ら約20人が出席。委員長の川真田哲哉市長が「完成後は人情政治家だった元副総理が古里を見守ってくれるでしょう」と述べ、くわ入れした。公園は、美郷と山川町の境の国道沿いにある造成地（約270平方メートル）に建設。後藤田元副総理と侑子夫人の肖像画の陶板を掲げた顕彰碑と、写真や語録を収めた14枚の陶板を碑を囲むように配置した「顕彰の環」など

3基のモニュメントを建てる。建設費約8千万円は全額募金で賄う。当初5月の完成予定だったが、写真や語録をよ

り充実させるため、期日を延ばした。後藤田元副総理は吉野川市の名誉市民でもあり、完成後は市に寄贈する。



くわ入れをする川真田市長（手前）
吉野川市美郷と山川町の境